



別紙 2

保護者アンケート調査結果

めざす補習校像検討委員会
サンフランシスコ日本語補習校

2010 年 2 月

1.	調査の主旨・目的	3
2	アンケート方法	3
3	アンケート結果	3
3.1	回答者内訳	3
3.2	補習校に求めているのも	4
3.3	補習校運営に関する満足度	5
3.4	安全性	6
3.5	日本語能力差の拡大	10
3.5.1	国語の授業レベル	10
3.5.2	日本語能力格差	10
3.6	少人数制	11
3.7	学級経営案	12
3.8	その他（保護者からのコメント）	12
付録	保護者アンケートフォーム	23

1. 調査の主旨・目的

「めざす補習校像検討委員会」での検討を進める上で、先に実施した教員アンケートに加え、保護者からも広く意見を聴くことを目的に、保護者向けアンケート調査を実施した。本アンケート調査結果を踏まえ、必要なアクション(対策)については、「めざす補習校像検討委員会 答申書」の中で提言を行っている。そちらも併せて参照願いたい。

2 アンケート方法

- 調査対象:全保護者
- インターネットによるウェブアンケート形式(無記名式)
- 実施期間:11/19(木) ~ 12/13(日)
- 調査内容
 - お子様に通っている学校区、学年
 - 在米期間予定
 - 補習校に求めているもの
 - 補習校運営に関する満足度
 - 安全性について
 - 日本語能力差の拡大について
 - 少人数制について
 - 学級経営案について

3 アンケート結果

3.1 回答者内訳

今回の調査では、368名の保護者から回答があり、回答率は44.2%であった。アンケート最後のコメント欄でも、非常に熱心なコメントを頂き、補習校を利用する保護者の意識と関心度の高さがうかがえる。今回のアンケート結果から、在米期間の違いによる「補習校に求めているもの」や「日本語能力差の拡大」に関する認識度の違いなどがより具体的に見えてきた。

表 1 回答者内訳

Answer Options	Response Percent	Response Count	家庭数
全体	44.2%	368	833
SF地区	42.5%	150	353
SJ地区	45.4%	218	480

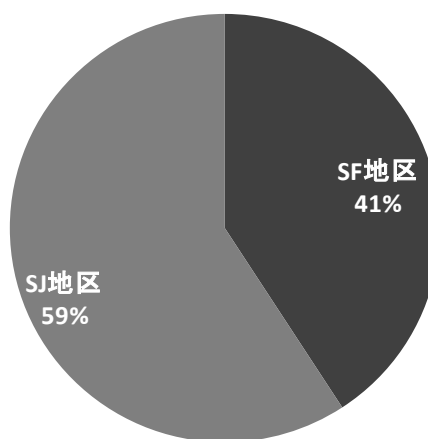


図 1 地域別にみた回答者の割合

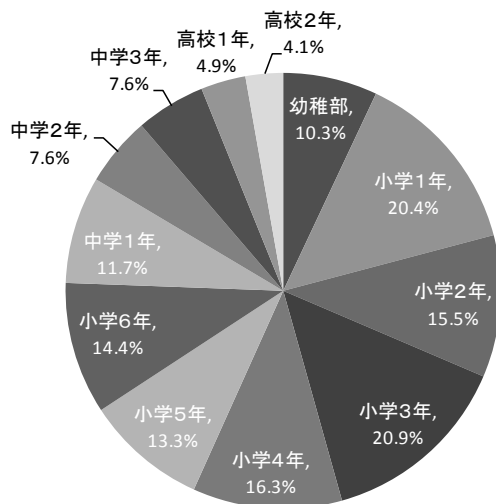


図 3 学齢別回答者内訳

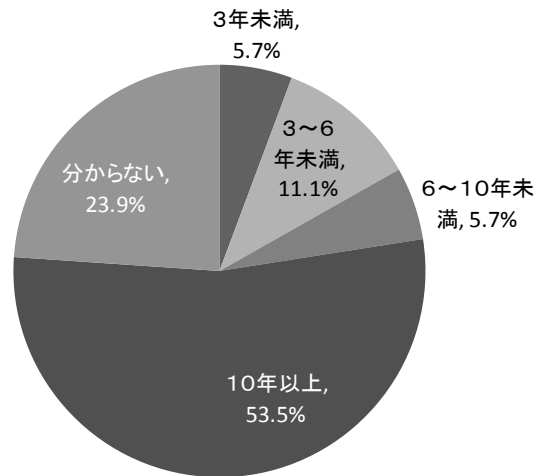


図 2 在米期間別回答者内訳

3.2 補習校に求めているもの

日本語を中心とした日本文化や生活習慣を身につけさせたいという意見が多く、帰国後の受験対策や塾的教育よりも、幅広い教育の場を求めている事が分かった。全体でみると「文科省の学習指導要領に添ったカリキュラムで進める授業」と「文科省の学習指導要領にとらわれず、内容を削っても「わかる」授業」がそれぞれ、26.1%、28.3%とほぼ同等程度に分かれた。但し、

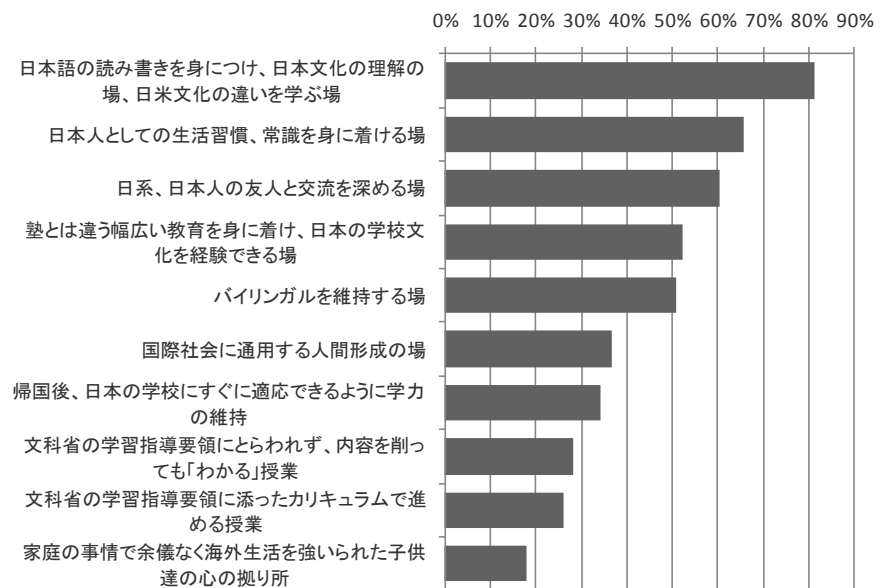


図 4 補習校に求めているもの(保護者全体) n=364

これを6年未満と10年以上の滞在者別に見てみると、6年未満では前者 47.5% 後者 6.6%との結果がでた。一方、10年以上滞在者では、前者 17.9%、後者 34.9%と全く逆の結果となった。滞在年数によってニーズが大きく異なることがあらためて確認できた。

「帰国後、日本の学校にすぐに適応できるように学力の維持」については、全体では 34.3%であった。但し滞在期間6年未満では 85.2%と最も補習校に求めている項目ことであることが確認できた。一方、滞在期間10年以上では 15.4%と非常に低く、逆に「日本語の読み書きを身につけ、日本文化の理解の場、日米文化の違いを学ぶ場」が 92.8%と最も期待されていることが分かった。ここでも滞在年数の違いによりニーズが多様化してきていることが確認できた。日本の中・高・大受験への対応は、滞在期間に関わらず、ニーズは低い。

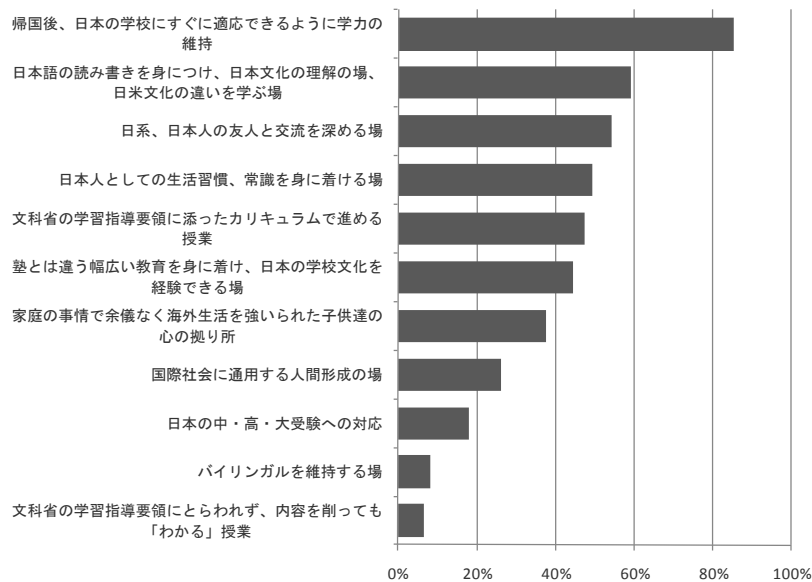


図 5 補習校に求めているもの(在米期間 6 年未満の保護者) n=61

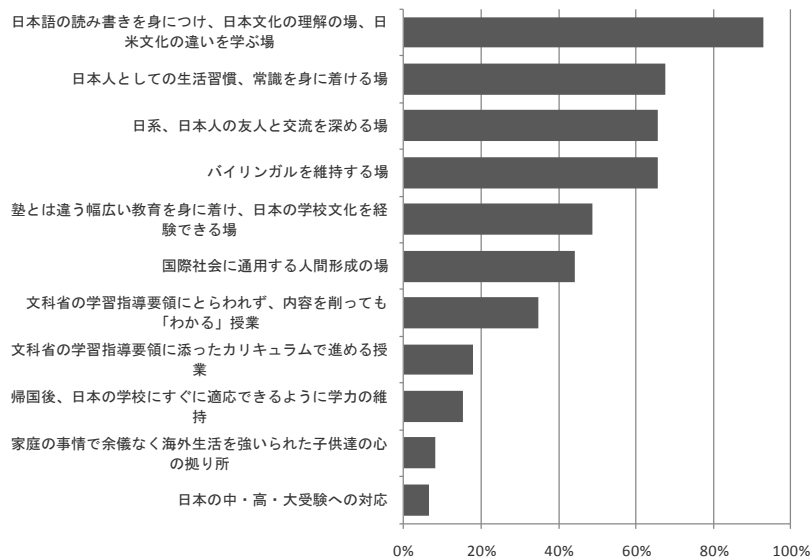


図 6 補習校に求めているもの(在米期間 10 年以上の保護者) n=195

3.3 補習校運営に関する満足度

全体的に、概ね満足の水準に達しており、現在本校がうまく運営されていることが確認できた。但し、「4教科をカバーしている点」「オープンな学校運営」「問題を相談しやすい雰囲気」については 2 割強の回答者が不満足と回答している。また、「帰国に際しての進路指導、受験対策」については回答者の約 65% が関心がないする一方、回答したの中の満足度は非常に低いことが分かった。

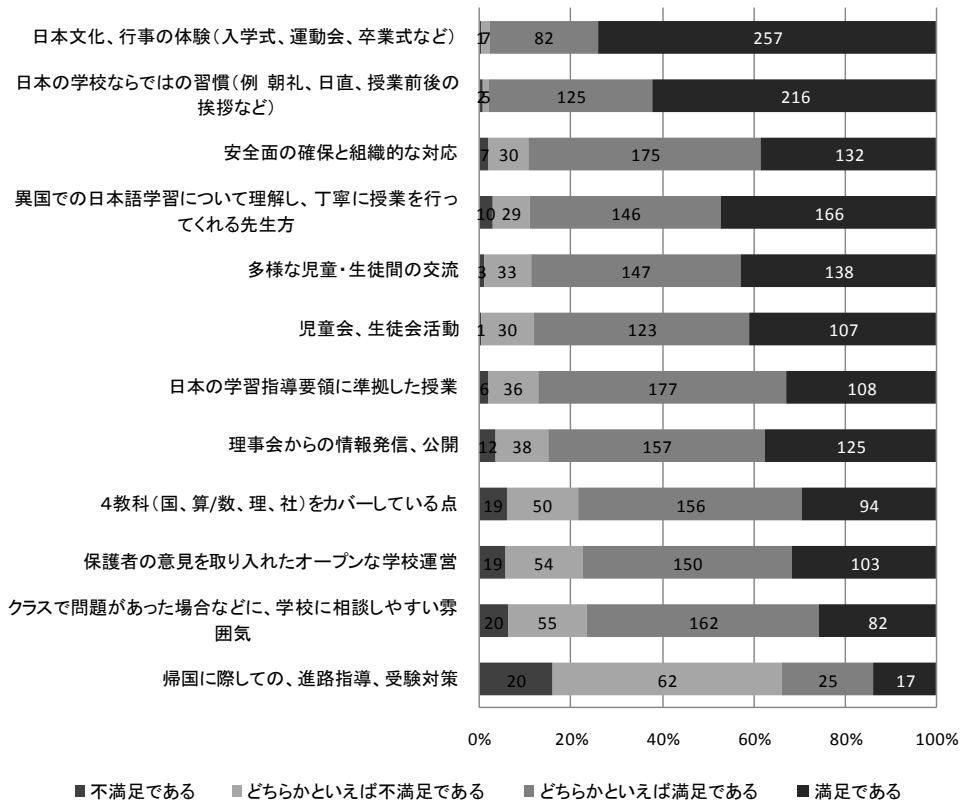


図 7 補習校運営に関する満足度 n=354

3.4 安全性

全体的には、概ね安心と非常に安心を合わせ 50%を超える項目がほとんどであった。但し、SF、SJ 両地区共に、幼稚部・小学部の外部からの侵入者については、不安と感じている人が約 30%いることが分かった。、その他のコメント欄でも外部からの侵入者に対する安全性について指摘する意見がかなり寄せられた。次いで不安と感じている点としては、「緊急時の連絡」「駐車場での安全性」に関連するものであった。

特に「駐車場での安全性」についてのコメントは、その8割強がSF校からのものだったことから、これはSF校の駐車場の構造上の問題や、朝のドロップオフを実施しているかどうかのSJ校との違いに起因するものと考えられる。SJ校の意見の中には、駐車場利用時のマナーや法規上問題となりかねない行為に対する指摘があり、今後注意

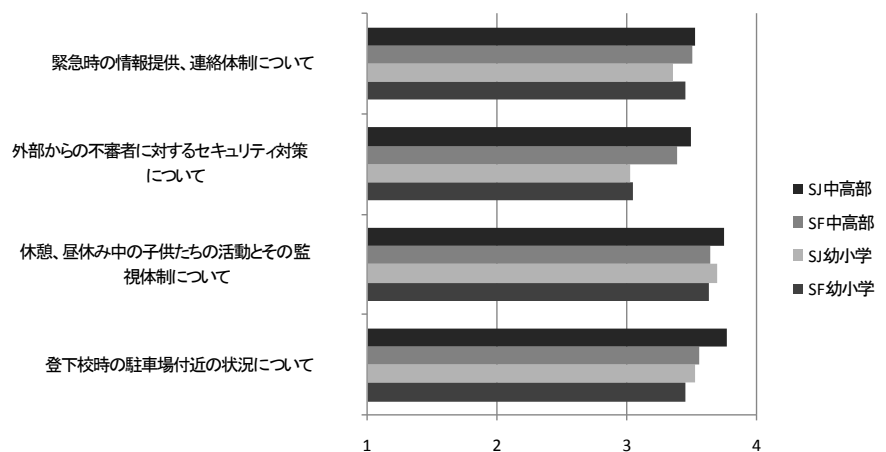


図 8 安全性について(全体) n=407

が必要である。

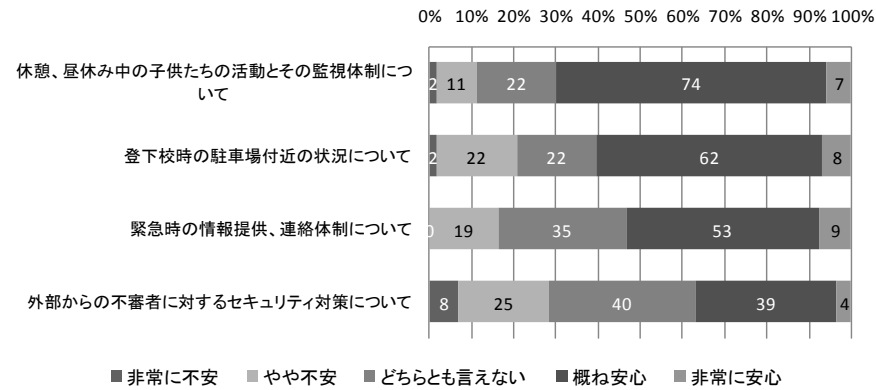


図 9 SF 幼小部 n=116

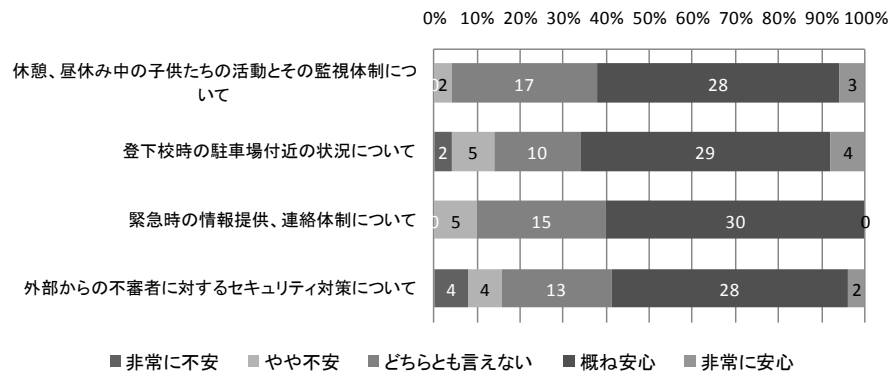


図 10 SF 中高部 n=51

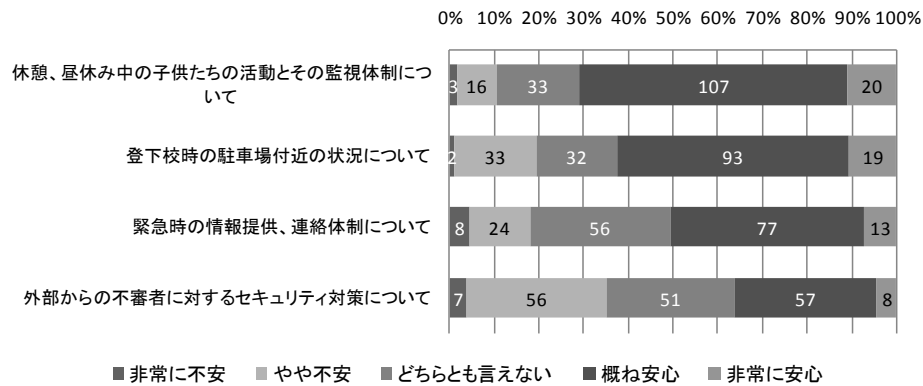


図 11 SJ 幼小部 n=179

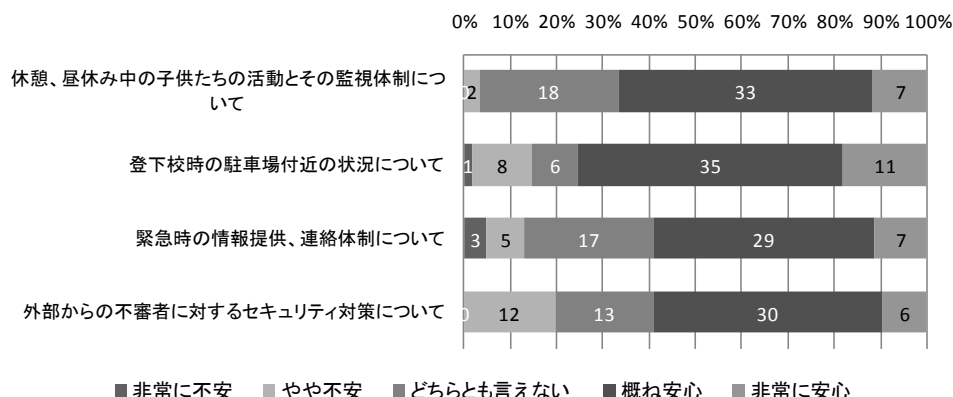


図 12 SJ 中高部 n=61

【セキュリティ体制に関するコメント 13 件】

現在のセキュリティ体制について、外部からの進入を制限するのが困難な点と、各校一人だけの警備員の質と量を疑問視する声があがっている。

- グラウンドでスポーツをしている人たちが校舎を横切っていくこと。
- 今回のセキュリティカードの使用で外部からの不審者に対するセキュリティ対応は高まると思うが、カードのチェックが適切に行われるかどうかみる必要があると思う。
- 外部からの不審者が父兄なのか見分けるシステムが無いので、悪意のある外部の人が紛れ込んでいても現状で見つけて対応するのは難しいと思う。
- 校内に誰でも立ち入れるという点が気になる。アメリカ人のセキュリティの人が見回っているが、いざとなると頼りになるのかどうか疑問。特に何もしていない印象がある。
- セキュリティは一応居るが、殆ど形だけで実際に何かあった場合に対応出来とは思えない。人数的にもたった一人ではどうしようもないと思う。
- 休み時間等に見かける警備員の方は、防犯についての訓練を受けた方なののでしょうか？またサッカー場への近道と称して、日中校内を通り抜けしようとしていた不審者と口論になったこともあり、安全・セキュリティ面が不安です。
- 誰でも出入りできる点。学校の規模が大きいので、監視するのは難しいだろうが、でもあまりに無防備な気もする。
- SF校で、IDを導入するお知らせがありましたので、運用の経過が気になります。
- 入り口付近にセキュリティガードの人がいるが、特に構内に入る際、サインインをする訳でもなく、今の状況では誰が入っても不思議ではない。SF と言う場所柄いろいろな人間の出入りがある可能性もあり、保護者や学校関係者とそれ以外の人間の出入りに関してももう少し厳しくしてもよいのでは？（現在、セキュリティ費を年間おさめているが、もう少しガードのあり方を考えてもらいたい。）
- 今後、送迎にきた親が胸につけるバッジは意味がないと思います。
- 今現時点で誰でもビルのなかに入れる状況が安全でない。セキュリティカードを身につけるようになると聞いてますが、誰かゲートでチェックされるのか、バーコードでスキャンするのか？徹底した安全の確保を望む
- 登下校時刻以外は出入りできるゲートを限定し、必要箇所以外は施錠してもよいと思う。

【駐車場に関するコメント 11 件】

特にSF校小学部での駐車場当番のあり方と安全性への意見が目立った。一方、SJでは、法規上問題となりそうな行為の警告がされている。

- 安全にこしたことはないが、実際に駐車当番をやってみてこれは本当に必要かどうか疑問に思う事があります。
- 駐車場当番の保護者が時に全く役割を果たしていない事が見受けられ、何のため？とただ立っているだけの方達に聞いてみたくなるときが多々あります。
- 駐車場当番がいるが、あまり役に立っていないと思います。
- 保護者による駐車当番を廃止するか、1学期と夏期集中講座期間までで充分だと思います。
- 駐車場に車を止めてから子供を降ろすと、入ってくる車と出る車が多いため、危険を感じます。
- 登下校で駐車をするのが大変なので、10分づつでも良いので、時間差登下校をして頂きたいです。
- 隣のグラウンドで行われているサッカーの練習のために来ている補習校とは無関係の保護者が堂々と駐車場に駐車したり、渋滞の原因となっているにも関わらずドロップオフのために停車していたりすることがかなりあります。
- 朝、駐車場で子供を降ろして、車を後進させる際、いつも心配である
- 登校時、無秩序に駐車場に出入りする車が多く危険。歩道サイドで、車から子供をドロップオフできるようにすると思います。
- 駐車場当番が道に出て車を止める等の行為については、危ないのでやめた方が良くと思います。当番は歩行者への対応のみに注力してほしい。
- 駐車場スペースに停車していない車がある
- 駐車中の車内に小さいお子さんを待たせたまま車を離れる親御さんを時々見かけますが、(特に小学部)危険であるばかりか、アメリカでは児童虐待の罪に問われかねません。近隣住民に注意される前に警告する必要があるように思います。
- 登下校時の駐車場付近の状況については、補習校保護者側も良識ある行動が求められる。近隣のグラウンドでスポーツをしている家族も使うため、自分達のために用意された駐車場ではないことを知る必要があると思うし、ハンディキャップスペース(車椅子などを引き出す斜線スペース)に堂々と駐車して行かれる方や、停めるスペースの最後から1台、2台とはみ出して駐車する車、進行方向の逆行、出入り口を塞いでの児童の乗降のための停車などはまだまだ時折見られる。
- 朝のドロップ時の当番体制は、人数的には、役員の補助もあり、問題ないと思いますが、自分が当番をしてみて、咄嗟の判断に困る場合や、指示を運転者にしっかり伝えられないなど、不慣れの人が当番をすると安全面の確保ができないと反省いたしました。

【緊急時の連絡、対応準備に関するコメント 7件】

現在の緊急時の連絡網及びその運用について、実際に機能するか不安と指摘されている

- 以前、何かで補習校が臨時休校になった時、緊急連絡網がほとんど機能しなかった記憶があります。普段のクラス連絡がほとんどメールに頼っている今、携帯番号の方、自宅番号の方、の違いもあるかと思います。年に一度は連絡網の確認訓練をした方が良いでしょう。(停電想定の上)
- 緊急時の情報提供は流行病などに関しては良く配慮されていて問題ないと思うが、例えば授業時間中の大地震など、低いながらも可能性がゼロではないときにどのように保護者に連絡が来るのか、シミュレーションすらされていない点が気になる。
- 学年の途中で転入してきた生徒の紹介や情報が全く伝わってこないことで連絡網などの変更が分からない。
- 緊急時の対応について、どのように家庭に連絡がくるのか、生徒の引き取り体制等についてハッキリと説明を受けた記憶がない。クラスで配られる電話連絡網に載せられている保護者の電話番号はほとんどが自宅の電話番号であるため、普段の連絡には問題ないが、緊急時には機能しないと思う。
- セキュリティーが果して、万が一の場合、役に立つのが今一わからない。小学部であれば6年生が、中高部であれば高2が、最高学年として皆の上に立ち、自覚を持って下級生を統率出来る様な教育をしてほしい。6年生ともなれば、

小学部でそれなりの責任を持った行動も出来る、後輩の良い見本となれると思う。そのような自覚が、安全につながって行くように思います。

- 保護者を含めた、非常訓練を1年に1回実施したら良いと思います。
- 小学校の低学年でも授業中にお手洗いに一人で行かせているのが気になります。現地校では必ずペアで行くことになっています。

3.5 日本語能力差の拡大

3.5.1 国語の授業レベル

全体平均を見た場合、低学年ほど「ややレベルが低い」が多く、高学年になるにつれて「レベルが高い」と感じているようである。更に滞米期間別でみると、滞在6年未満の保護者では、全学年でレベルが低いと感じている一方で、滞在10年以上の保護者では、幼稚部を除いて全学年でレベルが高いと感じている。滞米期間の違いによる日本語能力差に関する認識の違いが表れている。

幼稚部は、滞在期間に関係なく全員が「レベルが低い」と感じていることから、保護者の期待はもう少し高いところにあることが推測できる。

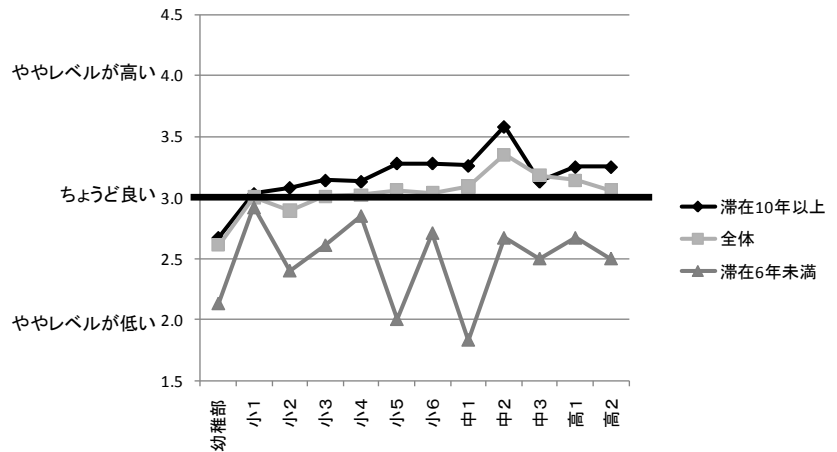


図 13 現在のクラスの国語の授業レベルについて

3.5.2 日本語能力格差

クラスでの日本語能力格差の認識に、学年や滞在年数別での違いはほとんどなく、8割弱の回答者が「クラスの中の日本語能力の格差が大きい」と感じており、5割弱の人が「何らかの対応が必要」と考えている。また、その他のコメント欄で、有料の課外授業や、目的別、習熟度別クラスの導入を求める声が目立つ。

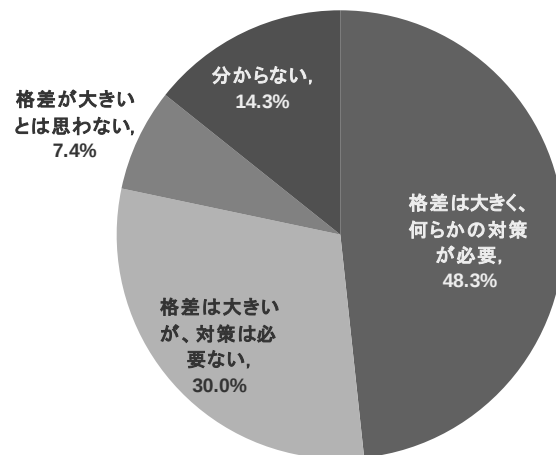


図 14 日本語能力格差に関する保護者の認識

3.6 少人数制

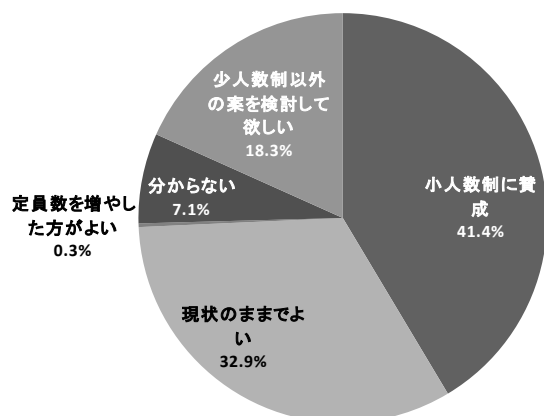


図 16 少人数制について

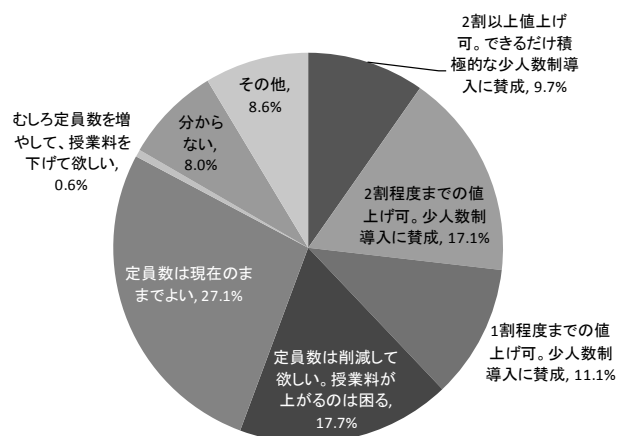


図 15 少人数制導入に際して授業料値上げの許容範囲

少人数制ではなく、それ以外の対策案を希望する声として以下のものがあった。

主なコメント: 希望する対策案	件数
習熟度・目的別クラス - 帰国、永住組でのクラス分け×5 - 全教科クラス分け×5 - 国語のみレベルに合わせクラス分け×4 - 放課後などに低習熟度生徒への補習時間を設ける×4 - 必要な科目に能力別クラス×2 - 国語授業の2時間を一斉と能力別に分ける	22
教員の増強、質の向上 - 研修などで質の向上を×6 - 能力のある教員の増強×3 - 教員の確保が心配×2	11
授業や教材の工夫 - アメリカ文化を日本語で考えるなど、力の差を刺激として互いに高め合う工夫×4 - 能力別宿題プリントの配布×2 - 視聴覚教材の利用	7
保護者ボランティアが教室に入って支援	4
生徒の入学基準、進級・進学基準の見直し - 留年、学年をスキップなどの制度を導入×2 - 入学時に、塾とは違う方針を説明 - 授業の妨げになる児童を減らす	4
その他 6 時間目を復活させる - 理科、社会の選択制	8

・ 出席率を向上させる指導 ・ 全ての生徒に対して平等な注目、配慮 ・ 少人数制が効果があると思っているのか教員の意見を聞きたい ・ 空き教室や廊下での個別指導 ・ 力の差を考慮した評価をして欲しい ・ 教員と相談して個別のニーズに対応	
---	--

また、少人数制の導入に反対する意見として、26 名の方から以下のコメントが寄せられた。

主なコメント: 少人数制に反対する理由	件数
今まで以上に教員数を増やす必要があり、質の高い教員をそれだけ確保できるか心配である。現在の教員の質向上を行えば、少人数制は必要ない	14
授業料の値上げに反対	9
補助教員や教室に入って教員を補助する保護者ボランティアの導入	5
定員を 30 人から 25 人に減らす程度は大差ないと思われる	6
目的別、習熟度別クラスを導入	4
少人数制で授業料が上がれば、補習校としてのメリットが薄れる。それであれば他校や塾を選択する	3
クラスの中の生徒数が多くて、沢山の出会いがあることが補習校の魅力である	1

3.7 学級経営案

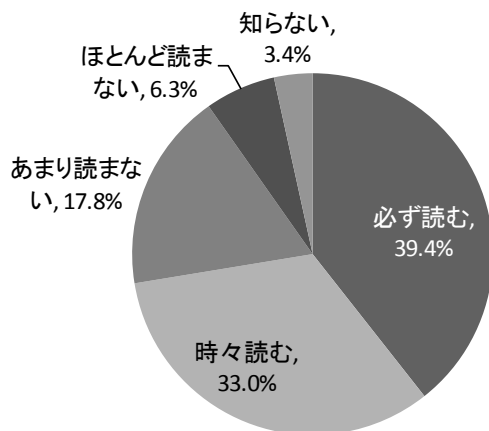


図 18 学級経営案を読んでいるか

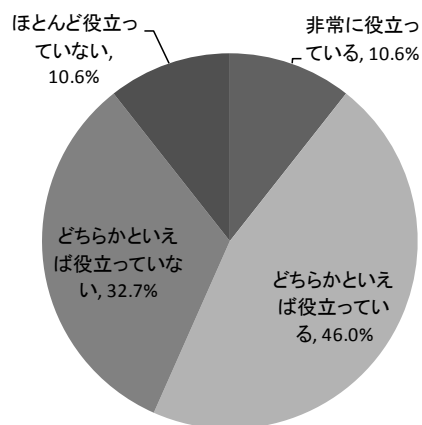


図 17 学級経営案は約に立っているか

3.8 その他（保護者からのコメント）

その他、補習校で改善出来る点、要望などについて 166 件のコメントが寄せられた。「クラスのあり方」に関するコメントが最も多く 2 割程度あった。内訳は、習熟度・目的別クラス編成を求めるものが多く、次いで放課後の補習授業、教科選択制、現行クラス編成の維持などが続いた。「講師の質」についても同様に 2 割程度のコメントがあった。「講師の力の差は保護者にとっては不公平」といった意見、「教員の質の向上」「力量のある講師の確保」「研修の強化」などが挙げられた。「教科・授業」に関するコメントは 17% で、「社理合科の是非」「幼稚園や小学低学年のレ

ベルアップ」「保護者や卒業生による授業補佐」「キャッチアップ為の補習」などの要望、提案が挙がった。「学校運営・組織」に関するコメントは約1割程度あり、「意見を取り入れるオープンな運営」「講師の職場環境改善」「値上げに反対」「現地校で日本語の単位になるよう求める声」などがあつた。

【安全性】

- 子供達が補習校に居る時間、保護者等の学校への出入りが自由なのに驚いています。セキュリティ的にはこの点は問題はないのでしょうか？
- 駐車場確保。特にサッカーシーズンに駐車場所がなくて困ります。お迎えの時間なのに駐車場所が無いとあわてて運転することになって危険です。以前に保護者会役員の方とお話したときに、駐車場を含めて土曜日は Cupertino Middle を補習校が借りていると聞きました。補習校関係者 Only のようなサインを出すことはできないのでしょうか。
- 幼稚部の送迎時のドロップオフも、慣れてきた二学期以降、可能とする。
- 中後部での駐車場当番などは不必要に思われる。当番の人がおしゃべりしている時も多々見受けられる。

【日本語のクレジット】

- セカンドランゲージのクレジットがつかないところです。現地滞在組にとっては、日本語をがんばりようもない、中途半端なところにある。絶対に必要事項の一番であると思う。
- 補習校での学びが現地校での日本語単位につながるようにならないのでしょうか？
- 折角の頑張り、アメリカの社会でも形として認めてもらえるよう、補習校で勉強した事を、現地校の「日本語」の単位として評価して頂けるよう、是非お願いしたいと思います。現地校の Middle School, High School で 外国語として "Spanish" や "French" を勉強し、補習校に通う事を断念するよりも、「日本語」を単位として認めてもらえれば、子供達の負担も減り、補習校を続ける意義がより大きくなると思います。
- 例えば SAT2 Japanese や AP 場合、補習校で学んでいる日本語(国語)がそれらテストで完璧、あるいはそれに近い点数を取るために、かならずしも役に立っているとは言えないと思います。高等部の生徒たちはそのほとんどが現地で大学に進学する生徒だという現実をふまえ、それらテストに対応できるような日本語の勉強を一ヶ月に1~2回でも導入していただければ、とても有り難いです。

【授業料】

- 日本から駐在でいらしている方と違い、現地で収入を得ているものにとって、値上げは死活問題です。これ以上の保護者負担は極力しないようにお願いいたします。子供が複数いれば、現状でも大変だと思います。
- 「授業料を払ってせっかく補習校に通っているのに子供の力が落ちている」と言われている中、さらに授業料を上げるという考えの前に現状の先生方のレベルを上げるべき。
- 二人子供が通っておりますので、かなりの出費をしております。2割程度授業料が値上がりすると、一人は学校を辞めさせることになると思うので、そうすると、とても残念に思います。
- 授業料を値上げするのは反対です。現地校のように保護者にファンドレイジングを呼びかけるのはどうか。それがない以上、値上げを考えざるを得ない状態であると保護者を納得させ、同意の上での値上げでないと反発があり、やめる生徒も出てくると思う。

【教育方針】

- 長男が中学にいた時(SF)、職員室に入る時「失礼します。」と頭を下げるくせをつけてもらって大変感謝しています。現地校の高校で日本語の先生に行儀がいいとほめられました。
- いつも感じるのですが、もっとフレキシブルでオープンな学校であってほしいと感じます。いつも前例がない、今まではこうだったと、新しい意見を取り入れる耳をもっていないのではないかと感じます。
- 完全な日本体制・日本の常識傾倒が目立ちます。日本からの体制の輸入のみに固執することなく、米国のユニークな点(兄弟優

先入学、学年担任の固定、写真撮影の自由、など)も取り入れて、こちらから日本国内を改善するくらいの意欲を持てはいいでしょうか？

- 日本国内でのみ通用する人材の育成ではなく、世界に通用する人材の育成という観点に立ちたいと思っています。
- やる気のある、生徒の視点で考える先生方が、管理職からのプレッシャーを感じることなく、のびのびと授業わかり易い授業、特別授業、特別活動が出来るような、環境を保って頂きたいと思います。
- 日本語で話すことを徹底するようにこれからがんばってもらいたい。今までの取り組みはもちろん評価しているけれども、実際には休み時間には英語を聞くことが多いのは大変残念です。

【教師の質の格差、向上】

- クラスの定員を減らす以前に、より良い先生を確保する、先生の採用の際にはもっと厳しい採用試験を設ける、実際に教壇に立つ前に十分な研修を行うなどして先生の質を高める方が大切だと思います。
- 最近の多くの日本の私立学校で導入されているように、先生をある程度評価できるようにしないと教師の安定的な質の確保はむずかしいと思う。評価が可能であれば給与をあげるために授業料を上げて文句は出ないのではないか。評価されても続けたという熱意のある先生の方に指導していただきたい。
- 先生方に対する不満の声をよく聞きます。採用時に個人の能力を見分ける目が必要。資格、経験を優先するよりももっと大事な事があると思います。また採用された教師に対しての教育指導をもっと充実させるべきだと思う。「
- 同じ学年でもクラスによって連絡事項が行き届いていないことが多々あるようです。私のクラスは担任の先生が大変きめ細かくサポートをしてくださいますが、隣のクラスの方によれば「先生から突然言われた。」と困惑すること多いと聞きます。この点は改善した方が良いのでは、と思います。
- 先生に関しても、先生としての資質を見てから先生として採用していただきたいと思います。
- 校長先生、教頭先生など、教職のベテランの人が、定期的に先生のクラスを見学してほしい。1時間見学というのではなく、午前中と長い時間をかけてクラスを見て、教え方のアドバイスをするようにしてほしい。
- 理科、社会を合科にしてその余分の時間を先生方の研修に当てましようと言う事になりました。模範授業はすばらしいと聞きました。とても良い事だと思います。先生方のご希望があれば、ずっと続けて行かれたら良いと思います。でもその前に、上手な授業の仕方を学ぶ前にもっと基本的な、大切な事が有る様に思います。児童、生徒への話し方です。例えば「はい、じゃあみんな、それをこっちに持って来なさい。」は学年にも依りますが「はい、それでは皆さん、それをこちらに持っていらっしやいね(来ましようね)(来てください)。」の方が聞いていて快いのではないのでしょうか。注意する時も怒鳴らないで済む方法があると思います。小さな事なのですが、この様な事が上手に教える事に繋がって行くのだと思います。
- それ程高額なお月謝では、ないにしてもある程度の金額を払い、学校に通っているにも関わらず、現在の子供が在籍しているクラスの状況では、その価値があまり感じられないと思っています。現状では、子供の学力は先生の教える力がどれだけあるかにかかっているように感じられます。クラス編成等が難しいのであれば、もう少し日本語で、国語、算数を教える力がある先生がいればと思います
- 同じ授業料を払っているにも関わらず、先生の指導力にあまりにも差があるため、不公平があるように思えます。たった週に1度しかない日本語の授業で、日本語を維持し続けるには、先生方の確かな指導にかかっています。しかしながら、今のサンフランシスコ補習校では、皆さんが熱意を持って指導しているようには見受けられません。やる気と指導力のある先生のみを採用し、子供たちが有意義に過ごせる時間にしたいものです。
- 教員の経験や実力の差にばらつきがある現状に危惧しています。「補習校は担任に当たりはずれがある」という通説が補習校に通われていない、または検討中の日本人の間にもあることは、問題なんではないでしょうか。そちらの対策がなされないまま、少人数性にしても、授業内容の改善は少人数制にするだけではみられないと思います。たくさんの教員を雇いクラス数を増やすということになれば、学年間での格差がでるはずで
- 正直なところ、先生のバラつきを感じることがあります。とても良く生徒の事を見てくださる先生方が多い中、残念ですが、子供た

ちに対するコメントなどが、”よし、またがんばろう！”と思わせるどころか、がっかりするようなコメントしかしてくれない(誤字脱字などが多かったり)先生もいらっしやいます。皆さん、研修などを積み重ねていろいろと努力されていることとは思いますが、クラスの規模などよりもっと内容の充実を検討していただきたいと思います。

- 先生によってばらつきがあるように感じます。我が子はベテランの先生に恵まれとても感謝しておりますが、他クラスのお友達のご父兄の中には授業の進め方に対する不満があるようです。
- また先生の能力も大きな開きがある。月額授業料が上がっても優秀な先生をできるだけ雇用するなどし、先生間にも競争原理を導入すべきである。

【人材の確保】

- 校長・教頭の代表二教師の先生方が短期で交代していく点の難点は主管制度の導入で非常に大きく改善されたが、そのために教師としても大変優秀な先生方がそうした全体をまとめるお仕事に携わることにより、担任を務めていただけなくなったことだけが大変に残念である。
- 担任教師の質や指導力、熱意、授業の準備にかかる時間等は、同学年でも学級間でかなりの差があり、その差が生徒のやる気や学力にも大きく影響しているという点も、保護者の間ではよく聞くことで、優秀な教師の確保のほうが重要ではないかと思われる。
- 補習校における優秀な教師は日本の一般的な教師以上にさまざまなスキルを要求されると思う。そのために授業料を値上げして教師の給与を上げる点も検討してしかるべきではないか。
- たとえ学級定員を(たかが2割)減らしても、優秀な先生でなければ大きな効果は期待できない。学力差のあるクラスをまとめて指導できる先生を探すまたはスキルを身につけてもらい、さらにはクラス内に補助教員(生徒間を回って補助するアシスタント)をおくことも検討したほうがよいかもしれない。
- 良い人材を教員として確保する事はとても大変な事と思いますが、なんとか人格に問題のない方を採用していただきたいと切に願います。
- 中学部高等部の教員にはぜひ同じような年齢の子供がいる、あるいは育て終わった、のような先生を選んでほしいと思います。先生が若かったり経験が少なかったりして、考え方に融通が利かないその先生の理想を生徒たちに押し付けられても、年齢的に難しくなっている生徒にもひいては親にも、ただ迷惑なだけです。精神的に難しい年代の生徒たちをいろいろな角度から指導出来る経験豊かな先生を、(中学部以上には)是非採用していただきたいと思います。
- 教員のアシスタントにあたる人員を確保することは出来ませんか？例えば、現地校では、ボランティアの親が入り、手のかかる子に対してきめ細かい指導を行っています。親のボランティアが無理なようであれば、補習校の高校生や卒業生はどうでしょう？日本語を生かしたボランティアとして現地校のボランティア時間にも当てられ、小学生にとっては身近な見本となるような気がします。本人の勉強も大変だと思いますが、卒業生で、大学進学までの間(4月から夏期集中まで)だけでも生徒アシスタントとしてボランティアもしくはアルバイトとして経験をつめれば、それは卒業生にとっても嬉しいことだと思います。
- 1年生の児童の保護者です。担任の先生が授業で大変なときにランチ当番のついでに保護者が授業の補助をしようとしたら学校側にしないでくださいと言われ、戸惑いました。子供のためにも授業がスムーズに進むように先生のお手伝いするのはいいことでしょうか？学校の規則ということですが、幼稚園や1年生のようにまだ児童に手がかかるクラスの補助は親のボランティアならOKと思います。

【目的別、習熟度別クラス】

- 生徒の日本語能力の格差が広がっているので、日本に帰国する生徒たちのためのクラス、アメリカに永住する生徒たちのクラス、の2つの種類のクラスを作ったらよいと思います。それによって、そのクラス独自のカリキュラムを作っていただけたら理想的です。
- 日本語をキープする、又は文化に触れる場ではなく、日本の教育を学べる学校として進んでいって欲しいと思います。その為

には面接や担任の先生によって日本語のレベルを判断したレベル別クラス編成を要望します。

- 本当に日本語で勉強がしたいために行くお子様だけにクラスがしぼられるのか、先生方が面接や試験、普段の生活態度で情の移った生徒さんを落とすことができるのか、心配しております。
- 帰国者向けの理科、社会をプラスしたコース、永住者用の国語、算数のみのコースに分けてもらうことはできないでしょうか？
- 社会は選択制として一日の最後に授業時間を設け、希望する児童としない児童を考慮したクラス編成をしたら良いのではないかと思います。当然授業料に差額が発生することはやむを得ないと思います。(希望する児童が少ない場合は、低学年・中学年・高学年と3グループに分け、2年分の指導要領をかいつまんで紹介する・・・などの方法をとっても構わないと思います。2年間同じような事を学ぶことになるかもしれませんが、内容が浅くても繰り返し学ぶことで、以前に習ったことの復習になりより記憶にとどまるのではないのでしょうか。)ご検討のほど、よろしくお願いいたします。
- 日本人の国際進出が進んだ今、永住の家庭がおそらく半数を占め、帰国を前提とした日本語教育の必要性は低下している。しかしながら日本の学校生活をそのまま体験できる、日本人としてのアイデンティティを維持する場として貴重な役割を果たしている。それを踏まえ、カリキュラムを見直し、帰国する生徒・永住する生徒でグループ分け、または理科・社会を選択性にする、または単元を絞って教える(理科では数項目、社会では日本の地理を重点に)など工夫が望まれる。
- こちら生まれの子供たちは、自分たちを日系人ではなく日本人だと言います。それは補習校で日本の授業を受け、日本から来た多くの友達と触れ合ったからだだと思います。もし補習校が無かったら、きっと今のように日本語をしゃべることもできなかったでしょう。その反面日本から来た子供たちにとっては、もう少しレベルを上げた授業が望まれるのではないのでしょうか。日本に帰ってからでも大丈夫なように通っている学校ですので、今の補習校では物足りないと思われる親御さんも多いと思います。特に理科と社会の教育が満足に受けられないのは、とても不安なのではないでしょうか。
- 確かに、同じクラス内で日本語能力の差が大きいのは先生に取っては大変なことです。でも、やはり能力別にクラスを分けると言うことは、他の学校でも立証されている通り、あまり成果がないことでしょう。
- クラス分けについては、習熟度別がいいと思います。補習校に通わせる1番の理由は、日本語を身につけてほしいからです。国語(日本語)によって習熟度別に分けられれば、教科書を含む教材を各段階にあったものを用いて、授業内容も変わります。はじめに親に、自分の子供に最終的にどの位の日本語に力を身につけてほしいか聞き取り調査をし、その目標を目指して授業をすすめればよいと思います。そうすれば、クラス分けに対しても不満もへり、ごちゃまぜにして、平均的にするよりも効率的だと思います。
- 少人数制は学年の学力を伴わない子へのフォローアップと、学年程度の学力を持つ子の区別を持たせた方向でクラス全員で参加できる授業、とともに補講という形でプラス授業ができるといいかと思います。
- 学年にとらわれず子供のレベルによってクラス分けされる読み書きを集中的に教えてもらえるような日本語専科、または、国語と算数のみのクラスなど、文部省指定の学習要項にとらわれない特別クラスがあればいいなと思います。
- 多くの駐在者の姉弟が塾などへ流れているのが現実である。そもそも日本の補習校は駐在者の姉弟が日本に戻っても日本の学校に適応できるだけのサポートを行っていくことが本来の趣旨である。だからこそ日本政府の血税も投じられているのである。この父兄の切実な願いを真に受けとめるなら、日本語の”習熟後別”のクラス編成を早期に導入すべきである。
- 中学部で目的別クラスがあるといいと思う。日本への帰国予定は当面ないので、例えば数学の証明問題を解く力より表現力をつける授業が望ましい
- 永住組みであっても学業重視のかたと駐在の方。永住の方で日本語の維持だけのために来ていらっしゃる方のクラスは分けるべきだと思います。「分かっている児童」が長い時間待たされる授業は問題があると思います。

【友人関係を考慮したクラス】

- 仲良しの子供同士同じクラスにしてあげるというのは悪い案ではないと思います。楽しければ学校も続けます。続けていると身につきます。
- 高学年になるにつれ、子供の補習校・日本語学習に対する意欲がますます重要になってきます。担任の先生による授業の楽し

さ、秋祭りやドッジボールなどのイベントや校内活動の充実などは、子供の補習校へ行く喜びを左右していますが、同時に、仲の良い友達と一緒にクラス活動や学習ができることが無上の喜びとなっているようです。

【日本語の格差】

- SJ校に比べるとSF校は帰国しない生徒が多いような気がします。よって、日本語の学力も差があると聞きました。自宅がパロアルトより南はSJ校、北はSF校と聞きました。その枠をはずしてもらえると選択の幅が広がるのではないのでしょうか。また、SF校は日本語の力に相当ばらつきがあるようで従来の日本語補習校の目的とは当てはまらないような気がします。補習校のあり方を検討する必要があるのではないのでしょうか。
- ランチや休み時間の日本語での会話を徹底して欲しい。例えば、ランチ当番は英語の会話を注意するなど。低学年でも半数以上は英語で会話をしている。
- 子どもたちが「あ～、英語しゃべったあ！」と指摘しあう場面に遭遇することがあります。現地校で学ぶ児童にとっては、英語と日本語が日常言語です。「ここでは日本語で話しましょう」という誘導がうまくなされないと、「英語禁止」ということだけが強調され、補習校がとても居心地の悪いところになってしまうことが懸念されます。
- 学年が上がるにつれて永住の子供たちとの日本語能力の格差が大きくなり、授業の内容もレベルが非常に低くなっている。そもそも日本語の能力が著しく異なる生徒同士が同じ教室で机を並べて日本政府の学習要領にそったカリキュラムを週一日のカリキュラムでこなすことは不可能である。

【授業内容】

- 子供たちが学校に通うのが楽しみになるぐらい授業を工夫して欲しい。
- お昼前に終了する3時間授業で、国語(多め)、算数(少なめに)をカバーをしていただけたらと思う。その方が、中学年以降に長く続けて行けると思うし、子供の負担が減ると思う。
- 国語については単に指導要領に沿った指導では限界があるように感じます。読む、書くについて、多少指導要領から外れた補習校独自のカリキュラムも必要ではないのでしょうか？
- 数学について、現地校ではよくできる子供が補習校の授業にはついていくのが精一杯という様子が見受けられるようです。日本の数学教育は学究的であり、一方アメリカは实际的であると。こうした教育についての考え方の差異はやむをえないことであり、そうした差異を前提に補習校教育があることはもちろんですが、少々気になっているのは、それが生徒たちに心理的プレッシャーを与えてはいないかという点です。数学についても「学習要領に沿った教育」を少しはなれた、補習校ならではの教育というものも必要なのかも知れないと感じる次第です。
- 現地校では英語や算数は能力別に小グループにして、それぞれの弱いところを強化させるようにしています。もし国語の時間最初の1時間をそのようにして保護者のボランティアを入れて、小グループで行えられないこともないのではないのでしょうか？
- 宿題、特に国語を能力別にだす方法はとれないのでしょうか？それを差別と言う保護者がいるのでしょうか？日本語ができる子供に関してはきっと現在の宿題ではきっと物足りないでしょう。逆に、日本語が母国語でない子にはかなりたいへんでしょう。
- 日本語の言葉の意味を理解できていない児童が多いような気がする、すべて日本と同じようにやるのは難しいが、補習校の子供たちは素敵な感性を持った子がたくさんいます。長々と書く作文より、その学年に出てくる言葉を使った短文づくりの宿題を、繰り返しポイントを指導しながら書かせたらどうだろうか？高学年になると日本語力に差が出るので、できない人は例文の中からカッコをつけてそこに言葉をいれて、全文を丁寧に書き写すなど、負担にならない方法をとったらどうだろうか？宿題も教科書で大切な部分をノートに書き写すものがあると、子供が親の力を借りずに自分でできるし文字をよく見ると思います。(同じ漢字を繰り返すことが嫌で最後のほうで雑になったり、その漢字をどんな時に使えばいいのかわからないみたいです)
- すでにキンダーでアカデミックなことを学んでいる子にとって、日本の年長のカリキュラムとはいえ、物足りない気がします。ぜひ幼稚園から積極的にひらがなやカタカナの学習を取り入れ手欲しい。
- 駐在組では、学年が上がると、補習校を辞めて塾にシフトされる方を多く拝見しております。また、他の補習校から編入された方

が、SF校のレベルの低さに驚いて辞められたという噂も耳にしました。私共のこどもは、まだ2年生であり、補習校の学習内容については特に不満がありません。またSF校以外の補習校を知らないのではなんとも言えませんが、「これから先、学年が上がるにつれてどうしよう？」(補習校を続けるのか？塾に行くのか？補習校と塾の二足のわらじを履くのか？)と不安な気持ちを抱えております。

- 日本で私たちが学校英語を学んでいたときのように、『学校のテストのための英語』『受験用の英語』『実際に役に立たつための英会話』、のように何種類かの日本語を学ばなければならない状態です。どうも今の状態は生徒の負担、ストレス、また親の負担を多くしてしまっているように感じます。
- 小学校高学年に2名子どもが在籍しています。作文が不得意のため、作文の書き方の指導を強化していただけるとありがたいです。

【理科社会について】

- 社会、理科の授業時間は少ないですがとても大切な科目だと思っています。授業内容や宿題の予定など国語、算数の年間学習計画と同じように作成して頂きたいです。
- 小学部で国語と算数を学ぶそうですが、算数よりもむしろ社会(日本の地理や歴史)を教えて教えていただきたいのが個人的な意見です。算数は現地校でも勉強しますが、社会(日本の地理や歴史)は日本の小学校でしか教えない科目だからです。
- 理科、社会は不要ですので、授業時間を減らしてほしいと切に願います。
- 永住の生徒が中高等部によく進めるようになるような学校になる事が希望です。永住の生徒は日本の教科書をこなすことが目的ではありません。アメリカに生活しながら日本語を理解することが目的です。その負担を減らす意味でも、社会や理科の授業より、日本語の授業が必要だと思います。
- 理科・社会を半期ずつではなく、社会に重点を置いて一年間を通して学習して欲しいと思っています。社会は日本の・歴史・行政など日本の文化・習慣を学ぶ上で大変重要な役割を果たす科目だと思います。
- 理科、社会は、希望者に提供するか、なくした方が良く思う。
- 社会科について小学部や中学部などの授業参観を拝見させていただいた印象では、基本的に教科書に沿った授業が行われていると感じたのですが、子供たちにとって身近でない日本の地理や歴史について、多少教科書からはずれても、たとえば日本のリアス式海岸はカリフォルニアのビックサーのような海岸のことをいうとか、日本が南北に縦長の国であることを、カリフォルニアと緯度で当てはめるとどんな位置にあたるか、そうした身近なアメリカやカリフォルニアの例を引きながら進めてはどうかと感じました。
- 最近帰国された方から理科、社会が遅れていて困ったと言う話を聞きました。合科になった為、塾に通っている方もいらっしゃるそうです。補習校の他に塾にも通うという事は保護者の方にもお子さんにも大変な負担になる事と思います。理科は実験ができないから削られたそうですが、視聴覚教材を使用しても全く学ばないよりは意味があると思います。帰国予定の方々は皆さん心配していらっしゃいます。
- 授業時間数が数年前に短縮されましたが、できれば以前の体制に戻していただき、社会・理科をそれぞれ1年を通して教えていただきたい。国語に重点を置いた指導のあり方には必ずしも満足していません。むしろ理科や社会を通して学ぶ日本語の大切さを感じています。国語は、指導案を拝見することにより、また授業参観を通して、大変熱心に指導していただいていることがわかるのですが、社会・理科という教科は補習校としても、付録のような捉え方をされているのでしょうか。家庭ではむしろ、国語的な指導はし易く思いますが、なかなか理科・社会まで手が回りません。とくに、日本の理科は、現地校の理科教育を知った後では、補習校でもっと力を入れていただければなあ、と思ってしまいます。
- やむを得ず早退や、欠席が続く場合があり、その補習サポートがあれば助かります。しかし先生に負担がかかるのは申し訳ない。とはいえ、授業の中身がわからなくなり興味を失う前に何らかのサポートは必要とおもいますが、いかがでしょうか。よろしくをお願いします。
- 算数よりもむしろ社会(日本の地理や歴史)を教えて教えていただきたいのが個人的な意見です。算数は現地校でも勉強します

が、社会(日本の地理や歴史)は日本の小学校でしか教えない科目だからです。

- 業料の値上げを伴ってかまわないので、授業時間を元に戻すことは出来ないのでしょうか。理科と社会を1時間ずつとってほしいのです。
- 理科・社会を半期ずつではなく、社会に重点を置いて一年間を通して学習して欲しいと思っています。社会は日本の・歴史・行政など日本の文化・習慣を学ぶ上で大変重要な役割を果たす科目だと思います。中には必要としないご家庭もあると思いますので、社会は選択制として一日の最後に授業時間を設け、希望する児童としない児童を考慮したクラス編成をしたら良いのではないかと思います。当然授業料に差額が発生することはやむを得ないと思います。(希望する児童が少ない場合は、低学年・中学年・高学年と3グループに分け、2年分の指導要領をかいつままで紹介する・・・などの
- 補習校に対しての唯一の不満は理科、社会が通年でなくなってしまったこと。予算が足りないのであれば大人数制(学年全員が一緒になってそろってマルチルームかどこかで先生一人から学ぶ形態をとって)でもいいから一年を通して、両科目を子供達に教えてほしい。
- 高学年の社会と理科を半分ずつに分けるのをやめて、以前やっておられたとおり、1時間ずつ時間を確保して、きちんと教えていただくことを希望しています。

【クラスルームマネジメント】

- かなり落ち着きのない生徒が複数いて、先生が苦労していらっしゃるのわかります。
- 授業を妨害するような生徒がクラスに何人も居て、まじめに勉強する気のある子供が補習校に行くのを嫌がるようになったという話をききました。授業を妨害するような子供達に対する処置(例えば親の同席を要求するなど)を徹底していただけたらと思います。
- 個人面談時に、子供も交えての懇談にしてほしい。
- 静かに出来ない子など多少なりとも問題のある子を中心に考え過ぎていて、普通に出来る子、などは何だかな・・・って思って補習校を辞めてしまった子なども知っているの、出来る子がそうやって辞めてしまう学校って学校としてどうなんだろう・・・って思います。色んな子がいてこそ学校だとは思いますが、学校が中心に考える子供層が学校と親では違い過ぎてるなって思う事があります・・・
- 中高部において、教科担任が必要な準備を持って適正な授業を提供しているのかどうか、確かめていただきたい。生徒に対する生活態度の注意などときには必要であっても、限られた授業時間の大半をそれに費やすのでは授業に参加する意味がない。生徒は限られた時間をやりくりして授業を受けに通っている
- 点を理解していただき、適正な授業を提供していただきたい。
- 先生によって生徒や児童をコントロールできない方もおり、授業妨害をしない生徒、児童の勉強が阻まれている。そういう先生方の指導力の改善、また授業妨害をする生徒や児童への対応にしっかりと取り組んで欲しい。

【学年の固定】

- 新学期のクラス分けの時は、子供の性格に合った先生を選んでいただけるといいとおもいます。また、先生が上級生から下級生の担当になったり定期的に代わっているようですが、先生も得意な学年を受け持ったほうが良いと思います。

【少人数制クラス】

- クラスを少人数制にしていきたいと思います。そうすれば、もっと、学習の理解度が上がり、きめ細かな授業が可能になります。そのために、授業料の値上げを行っても、取り入れてほしいです。
- 定員人数は同じで、むしろ時間削減で、授業料が安くなってくれる方が、長く続けられますし、補習校以外の活動にも参加できます(例:コミュニティセンターのスポーツ)。
- 日本語能力の高い生徒を下げるのでは本望ではないでしょうから、日本語能力の低い生徒の能力を底上げする必要が出てくる

ように思います。そのときに、少人数制という案が出てきたように、感じますが、基本的には少人数制には、疑問があります。

- これだけ日本語能力の差がある中で、みんな同じようにやる、と言うのは少なからず無理が生じると思います。まずは、最高でも定員25人(できれば20人以下が理想ですが)の少人数制が実現に向かえば、そこからもっといろいろなことが出来ると信じています。
- 少人数制にすれば、教員の人数を増やさなければならないとありましたが、先生の質は下がらないようにしていただきたく思います。不公平にならないようにお願いいたします。

【学校行事について】

- 入学式、卒業式、運動会などの行事は必ず保持して欲しい。日本語だけなら他の学校でも勉強できるので、行事がなくなるのと補習校に行かせる意味がなくなるから。
- 小学部から中学部へ、中学部から高等部へもっと生徒がすすんで自分で進学を選択できるような工夫が必要だと思います。うえの学年になると難しく、ついていけないぞ…という不安が多いような気がします。上級生が、こちらの学校はもっと楽しいよ…とおしえてあげられる機会や、下級生が、上級生の生活をのぞけるような機会をもっともっと増やしてほしいと思います。そのせいで、少々カリキュラムが遅れても、手に入れるものは多いと思います。
- 先日、中高部で行われた弁論大会は大変良かった。小学部の特別授業(合唱)の取り組みも良いと思う。限られた年間授業日数の中で、授業以外でも、こういった取り組みが少しずつされている点は素晴らしいと思う。準備される先生方に変感謝しています。
- 年間40数日しかない補習校で、体育会のみならず音楽会(合唱)まで取り入れるのは欲張りすぎなのでは？基本的授業時間を確保した上で、「課外授業」としてPTAが責任を持つのなら問題ありませんが、授業時間をつぶしてまでの行事をこれ以上増やす事は反対です。
- イベント時などに、バディシステムを組み、生徒間の上下関係を密にする。下の学年の子供は、上の学年に憧れるので、ますます上にあがりたくなる。日本語をがんばろうと思える。
- もっと前もって、保護者会や、学校のイベントの予定を連絡して欲しいです。仕事などの予定が組めなくて困ります。
- ここ数年続いている小学部での合唱や、今年初の中高部での弁論大会など、本当にすばらしいと思う。先生方は負担が増えて大変だと思うが、感謝している。今後も是非続けてほしい。

【設備】

- 中高部には、まだ子供がおりませんが、図書があまり充実していないことを耳にすることもあります。
- 小学生には中学生用の机と椅子は大きく、姿勢が悪くなっている子がとても多いので、足をぶらぶらさせないように、IKEAなどの安い踏み台があれば良いと思う。保管が大変だと思いますが。
- 中高部の図書をもっと充実させていただくといのでは、と思う。寄付の必要などあれば保護者も協力できるのではないかな。

【放課後のアクティビティー】

- 放課後の有効利用です。小学部低学年には、放課後クラブというのがありますが、中高学年や中高部には下校時以降は、学校では特に何も用意されておられません。習字、そろばん、将棋などに興味があるか否かの問いがありましたが、そういった日本文化を日本語で学べる機会があれば、よりいっそう日本語に触れる機会も増し、楽しみながら学年の枠を超え、日本語の習得ができるのではないかと思います。塾のような感じでなくても、クラブの様に、漢字検定クラブ、剣玉クラブなど、目新しいものもあると面白いと思います。日本文化に直接関係しない内容、たとえば音楽、美術、スピーチ、スポーツなどでも、日本語での環境で行えれば、日本語の定着にも一役買うことになると思います。借用校やそれらを教える人の確保などの問題さえ乗り越えられれば、放課後にも日本語で有意義な時間が過ごせるのではないかと思います。
- 国語だけでも、受験対策のためのクラス(あるいはハイレベルクラス)を希望者対象に6時間目に開講するのはどうでしょう(授業

料は別途)。数学はともかく、国語は正規の授業だけでは不安です。受験のための問題集などを使ってどんどん問題を解いていく演習形式で。

【保護者への働きかけ】

- ただ子供を毎週授業に通わせるだけではなく、親が思っている以上に学校側と連携して勉学の補助を日々行わなければ現実そんな簡単に日本語を正しく習得出来るものではないと言う点をしっかり認識した上で補習校に通わせるべきだと強く思います。親が同じ認識を持っていれば、レベルの差も多少は縮まるのではないのでしょうか。学校側は入学前にその点を何とか上手く親に理解してもらう手だてを考えるべきだと思います。
- 父兄が抱く悩みや愚痴等(どんな些細な事でも、)何でも感じるまま今現在の心境を日誌化してクラス内で回し、個人個人の意見をクラス全員に公開し合えたらいいなと思います。一人一人の悩みに対して皆のアイデアや既実践している工夫等(上級生のお子さんを持っておられる家庭の経験談も)を情報交換して父兄同士、横の繋がりをしっかりと持てばコミュニケーションだけの問題ではなく各家庭の意識も向上して行くと思うのですが、。
- 先日行われました教頭先生の作文教室などの様な、家庭学習の支援です。国語のみならず、算数(数学)、理科、社会など、家庭で、具体的にどの様に子供達に学習支援ができるのか、保護者を対象にしたレクチャーを増やすなどしてはいかががでしょうか？その際には、ビデオ録画などをし、レクチャーに参加できなかった保護者にも、内容を共有できる様にしておいて欲しいと思います。
- 図書の利用を保護者にも促し、家庭での日本語の読書を増やす働きかけも必要ではないのでしょうか？

【理事会・保護者会について】

- クラス委員がどうしても引き受けにくい家庭に対して、半強制的に引き受けさせようとする圧力を改善してほしいと思います。
- リフレッシュメントをボランティアで募り、販売し収益金の何割かを学校へ、残りを材料費として作って来た方にお返りする。クラフト等得意な保護者の方が(ビーズ、かご、パッチワーク等)講習会を開く 等とても工夫されているという話を引っ越した友人から聞きました。借用校による制限の中、少しでも子供達はもちろんのこと保護者にとりましても通う事に楽しみを見いだす事のできる環境を提供していただけたらと思っています。
- 本来の意味の保護者会をもっと有効活用するべきだと思います。現状、補習校の活動に関与しているのは殆ど役員のみで、一般保護者(=保護者会会員)が活躍・参加できる場所が非常に限られています。大きなイベントの際のボランティアだけでなく、年間を通して補習校の活動に参加できるような仕組み(それこそセキュリティだったり、課外授業の講師だったり)を作って頂ければ有難いです。
- SJ 校にて理事会長？のために駐車場スペースが確保されているのはおかしいと思う。VIP 待遇をされるべきではないし、保護者の一員という立場を忘れずに欲しい。
- 中学校や高校になると、親が学校内になかなか入れず、先生方にお目にかかることもほとんどなく、小学校に比べて、距離を感じます。親や子供、先生方が協力し合って一つのコミュニティーのような学校と一緒に出来たらうれしいです。
- Eメールなどの連絡事項をもっと簡潔にする。仕事をしていたり、現地校の連絡事項だけでも、いっぱいいい人な人は、最初の日本語の長い挨拶をみただけで、飛ばして読みやすい。そのため、重要な部分も飛ばしてしまう可能性もある。
- 毎回送られてくるメールや配布される紙面にあります内容についてです。たとえば、〇日までに持ってきてください、や、これは必ずではないが大切なことです、の違いをもっとはっきりして欲しいと思います。敬語や丁寧語の多い日本語ですから、長文になると、意味が分かりにくいときがあります。
- 現場を熟知している先生方の代表を理事会に置いて欲しい。
- 我が子の通う学校のボランティアは 苦ではないが、必要ではないボランティアもある気もする。
- 当番、保護者会、理事会等への保護者の皆さんの参加意欲を向上させる方策を学校をあげて考えてほしい。このままでは、参加意欲のある保護者の方々が年々減少し、一部の保護者の方の協力しか得られなくなってしまう可能性があります。子供を預け

ているという考えではなく、家族で補習校の運営に参加する意欲を持っていただきたいし、そのような環境にしていきたいと思います。

- お弁当の前にランチ当番の親が、教室から石けんを持って行き、教室の近くの男子か女子トイレどちらかで、子供達を誘導して手を洗う習慣を(日本の小学校のように)つける事ができれば素晴らしいと思う。

【情報開示】

- 学力格差の対策としてクラス定員削減を検討するのは一案であり、重要だと思うが、アンケートの結果を発表する際になぜこれが検討されているかの背景を具体的な学力格差拡大傾向のデータを付して示して欲しい。さらにこれが現在の日本の同等の学校と比較しても学力格差が著しいのかもデータで示して欲しい。
- 数年前に小学部サンフランシスコ校で、ベテラン先生方が、いっせいに雇用解雇になりました。大変熱心に教えてくださったベテランの素晴らしい先生方ばかりだったので、本当に残念でした。大勢の解雇だったので、教員の雇用確保は必要ないものと思いましたが、そう言うわけでもないようで、もっと保護者にもきちんと説明をしていただきたかったです。解雇された先生方もきっと、もっと説明を受けたかったと思います。また、5-6年前は、子供たちが楽しみにしていた、昼休みを削減されました。その時も説明がなく、一方的だったので、補習校には公正な判断と情報の公開をしてほしいと願っています。
- いろいろな委員会が発足されていますが、委員はどのように、またどんな基準で選出されているのでしょうか。あるいは公募をしたのでしょうか？40周年の時もそうでしたが、ほとんどの保護者に理事会の活動を知られていないような気がします。
- うちの子はアメリカで生まれ育ちましたが、家庭内で日本語なので、とても日本人的です。学校でも日本語グループに属し、とても楽しんでいます。高学年に行くに従い、日本語グループ、英語グループではっきり別れて、あまり交流がないようです。なんだかちょっともったいない気がします。
- 休憩時間や集会で生徒が集まる時に生徒同士の日本語で話す環境を作って頂きたいです。中高は特に英語が多いと聞きます。
- 英語しかわからない親もいるので、親向きには、英語の訳があると助かる(送迎時のフォーム、ボランティアのログブック等)

【アンケートの有用性】

- アンケートの実施ありがとうございました。保護者と学校がさらに一体化して子どもたちを支えていけるようにして欲しいと思います。
- 補習校が私立の教育機関であるからこそ、こうしたアンケートなどをとおして保護者や生徒の声を反映した学校運営を継続できると思います。評価しています。
- 子供たちや家庭の状況が多様化し、ニーズもかわってきていると思います。このようなアンケートを実施して状況把握をしてくださるのはとてもありがたいです。補習校で学んでいる子供たちは将来どこで生活することになっても日本(国そして文化)を支える希望の星だと思います。自分の子供も含め、少しでも多くの子供たちが長くつづけられるよう願っています。
- このように積極的に保護者の意見を取り組もうとされたアンケートだとは知らず、消極的にアンケートに答えたのですが、保護者会、補修校ともに一心になって、今後の補修校の身の置き方を考えてくださっていると知り、大変感謝しております。

【補習校に感謝】

- 現状に満足しています。
- 拙宅では子供が3人補習校のお世話になっています。彼らが日本語を読み書きできるのはひとえに補習校のおかげだと思っています。
- 現状に概ね満足しております
- 子供たちは楽しく通っているので、今はあまり要望はありません。
- 現在の補習校の制度で主旨満足しておりますが
- 高1と高2で子供がお世話になっております。2人とも熱心な担任の先生にも、たくさんの友達にも恵まれ学校生活をとっても楽し

んでおります。不満に思っている事は今のところ特にはありません。保護者会の方々は、いつも大変なご苦勞をされて本当に頭が下がります。これからもよろしくお願い致します。

- 日本の小学校で体験入学をしましたところ、集会、挨拶の習慣、日本で行われる授業のスタイルなどに問題なく馴染むことが出来ました。現地生まれにも関わらず、日本の授業にも問題なくついて行くことが出来たのは、学校及び先生方のご尽力の賜物と存じます。
- いつもご苦勞様です。みなさんのご活躍を感謝しております。
- 補習校運営に携わる方々には、今の熱意を持ったまま、ずっと続けて行っていただきたいと心から切望している。
- 皆様には、補習校の為に尽力いただき、とても感謝しております。
- 週に一回しか無い補習校で「まるで日本にいるような」学校生活を実現されている諸先生方、スタッフの皆さまには大変感謝しております。
- いつも学校のためにご尽力していただき感謝しています。
- まだ入ったばかりで、良いも悪いも判断出来ません・・・。

【その他】

- 少ない年間の授業日数の中、10日間を占める夏期集中に現地校の授業や講習などで出席できない生徒が多数いると思います。今後、6月の夏期集中の日程を変更するお考えは、ありませんか？
- 高学年にいくほど言う先生が多い、“永住ですか。ではこれで十分でしょう”は、親にとってとてもがっかりさせられる言葉です。あきらめられて感じる子供はやる気がなくなります。先生によってはとても上手く子供の向上心をあげてくださる先生もいらっしゃいます。保護者の方々も情熱的な方が大勢いますし、格差のあるクラス作り・人数削減など短絡的な方法をとるのでなく、みんなで盛り上げて、内容を充実させていきましょう。学校生活としては、日本の行事もあり、お友だちとも仲良く、子供たちも楽しんでます。
- 週1の授業で時間が足りないためサックスギビングなど、現地校の休校しているときに補習校の授業を増やして欲しいです。
- 年度末の写真集(?)が高すぎる。SF校とSJ校とわけてページ数を少なくし、安くして、皆が購入できるようにして欲しい。
- ベイエリアの塾と提携し、必要に応じてサポートを受けられるような体制をおつくりになられてはいいかでしょうか。日本に帰国した後の受験体制等は塾の方が恐らく情報をたくさん持たれていると思いますので、学校にお招きして講演会をしていただく、等々交流を持っておくのも悪くないかもしれません。折角日本語文化を取り入れての教育の場ですので、日系のお年寄りをご招待するような場(音楽会や運動会、あるいは昔話をさせていただく)を設けてはいいかでしょうか。

付録 保護者アンケートフォーム

1. サンフランシスコ日本語補習校 めざす補習校像検討委員会 保護者アンケート

保護者の皆様へ

「やまなみ」でもお知らせしておりますが、補習校創立40周年にあたり、補習校の将来に向けての長期的展望を見定めるために理事会からの委嘱を受け「めざす補習校像検討委員会（以下委員会）」が9月に発足されました。委員会では、補習校をより良い学校にしていく為には、幅広く保護者の皆様からのご意見を伺うことが不可欠だと理解し、この度アンケートを実施する運びとなりました。ご多忙中のところ恐れ入りますが、ぜひご協力のほどお願い致します。

アンケートの記入に際しまして、

- 1) アンケートは、無記名式です。
- 2) 実施期間は、11/19（木）～11/25（水）です。
- 3) 対象は、補習校の全保護者です。（家庭単位でご回答下さい）
- 4) 10～15分程度お時間を下さい。
- 5) 各ページの下にあるPrev/Nextボタンを使って、自由にページを移動し、記入した内容の修正ができます。
- 6) たまに、Prev/Nextを使ったときに、先頭ページに飛ぶことがあります。このWeb Siteの不具合によるものです。そのまま、Prev/Nextを使って目的のページまで進んで下さい。
- 7) 最後のページの"Done"のボタンを押すと終了です。その後の修正はできません。
- 8) 不明点がございましたら、SFJLC.Vision@gmail.comにお問い合わせ下さい。

一週間に一度の補習校の貴重な時間が、子供たちにとってより楽しい学びの時間となるよう、保護者の皆様のニーズやご意見をしっかりと把握し、めざす補習校像に反映させていきたいと思っています。
重ねて、ご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

めざす補習校像検討委員会

2. 学校区、学年、滞米期間について

* 1. お子様に通っている学校区を選んでください。

☐ SF地区

☐ SJ地区

* 2. お子様、通っている学年を教えてください。（お子様が複数いらっしゃる場合は、それぞれの学年をチェックしてください。）

☐ 幼稚園

☐ 小学4年

☐ 中学2年

☐ 小学1年

☐ 小学5年

☐ 中学3年

☐ 小学2年

☐ 小学6年

☐ 高校1年

☐ 小学3年

☐ 中学1年

☐ 高校2年

* 3. アメリカでの滞在期間について教えてください。

- ☐ 滞在期間は、3年未満の予定
- ☐ 滞在期間は、3～6年未満の予定
- ☐ 滞在期間は、6～10年未満の予定
- ☐ 滞在期間は、10年以上の予定
- ☐ 分からない

3. 補習校に求めるものについて

1. 補習校に何を求めていますか？（複数回答可）

- ☐ 帰国後、日本の学校にすぐに適応できるように学力の維持
- ☐ 日本語の読み書きを身につけ、日本文化の理解の場、日米文化の違いを学ぶ場
- ☐ 文科省の学習指導要領に添ったカリキュラムで進める授業
- ☐ 文科省の学習指導要領にとらわれず、内容を削っても「わかる」授業
- ☐ 日本の中・高・大受験への対応
- ☐ 家庭の事情で余儀なく海外生活を強いられた子供達の心の拠り所
- ☐ 塾とは違う幅広い教育を身につけ、日本の学校文化を経験できる場
- ☐ バイリンガルを維持する場
- ☐ 日系、日本人の友人と交流を深める場
- ☐ 日本人としての生活習慣、常識を身につける場
- ☐ 国際社会に通用する人間形成の場

「その他」の場合は、以下に具体的にご記入下さい。

4. 補習校の取り組みについて

1. 補習校運営の中で、以下の項目に関して現在の満足度をお答え下さい。
以下の項目の中で、特に関心がない場合は「N/A」を選択して下さい。

	不満足である	どちらかといえば不満足である	どちらかといえば満足である	満足である	N/A
日本の学習指導要領に準拠した授業	☐	☐	☐	☐	☐
日本の学校ならではの習慣（例 朝礼、日直、授業前後の挨拶など）	☐	☐	☐	☐	☐
日本文化、行事の体験（入学式、運動会、卒業式など）	☐	☐	☐	☐	☐
異国での日本語学習について理解し、丁寧に授業を行ってくれる先生方	☐	☐	☐	☐	☐
4教科（国、算/数、理、社）をカバーしている点	☐	☐	☐	☐	☐
帰国に際しての、進路指導、受験対策	☐	☐	☐	☐	☐
多様な児童・生徒間の交流	☐	☐	☐	☐	☐
児童会、生徒会活動	☐	☐	☐	☐	☐
保護者の意見を取り入れたオープンな学校運営	☐	☐	☐	☐	☐
クラスで問題があった場合に、学校に相談しやすい雰囲気	☐	☐	☐	☐	☐
理事会からの情報発信、公開	☐	☐	☐	☐	☐
安全面の確保と組織的な対応	☐	☐	☐	☐	☐

5. 安全性について

学校の安全性について、どのように感じていますか？

小学部、中高部でそれぞれ回答して下さい。お子様が通っていない場合は、スキップして下さい。

1. 幼稚部、小学部

	非常に不安	やや不安	どちらとも言えない	概ね安心	非常に安心
登下校時の駐車場付近の状況について	☐	☐	☐	☐	☐
休憩、昼休み中の子供たちの活動とその監視体制について	☐	☐	☐	☐	☐
外部からの不審者に対するセキュリティ対策について	☐	☐	☐	☐	☐
緊急時の情報提供、連絡体制について	☐	☐	☐	☐	☐

2. 中高部

	非常に不安	やや不安	どちらとも言えない	概ね安心	非常に安心
登下校時の駐車場付近の状況について	☐	☐	☐	☐	☐
休憩、昼休み中の子供たちの活動とその監視体制について	☐	☐	☐	☐	☐
外部からの不審者に対するセキュリティ対策について	☐	☐	☐	☐	☐
緊急時の情報提供、連絡体制について	☐	☐	☐	☐	☐

3. 安全面に関して、特に気になる点があれば教えてください。

6. 日本語能力差の拡大について

多くの補習授業校で、クラス内での日本語能力差の拡大が課題となっています。対応策として「習熟度別、目的別クラス編制」を導入した学校では、残念ながら期待した成果が上がり、逆にそういったクラス維持の爲の財政圧迫（授業料値上げ）、クラス間の軋轢（差別問題）などが報告されています。

よって委員会では、現在のクラス編制を維持しつつ、如何に児童・生徒の多様化に対応できるかを模索しています。以下にお聞きする項目は、検討の素案レベルですが、皆様のご意見を反映させながら、更なる検討を進めたいと考えております。

1. お子様にとって、現在の国語の授業レベルは如何でしょうか？

該当する学年を選んで、それぞれのお子様毎にご回答下さい。

	非常にレベルが低い（簡単すぎる）	ややレベルが低い	ちょうど良い	ややレベルが高い	非常にレベルが高い（授業についていけない）
幼稚部	☐	☐	☐	☐	☐
小 1	☐	☐	☐	☐	☐
小 2	☐	☐	☐	☐	☐
小 3	☐	☐	☐	☐	☐
小 4	☐	☐	☐	☐	☐
小 5	☐	☐	☐	☐	☐
小 6	☐	☐	☐	☐	☐
中 1	☐	☐	☐	☐	☐
中 2	☐	☐	☐	☐	☐
中 3	☐	☐	☐	☐	☐
高 1	☐	☐	☐	☐	☐
高 2	☐	☐	☐	☐	☐

* 2. 委員会では、滞米期間が長くなる家庭の割合が増える中で、クラス内での日本語能力差も拡大する傾向にあり、授業運営上何らかの対策の必要性を感じています。これに関して、お考えをお聞かせ下さい。

- ☐ a) 格差は大きく、何らかの対策が必要だと思う。
- ☐ b) 格差は大きいですが、対策の必要性は感じていない。
- ☐ c) 格差が大きいとは思わない。
- ☐ d) 分からない

* 3. 対策案の一つとして、少人数制導入が考えられます。少人数制について、お考えをお聞かせ下さい。

- ☐ a) 小人数制に賛成である。
- ☐ b) 現状のままでよい。
- ☐ c) むしろ定員数を増やした方がよい。
- ☐ d) 分からない。
- ☐ e) 少人数制が対策案になるとは思えない。その他の案を検討して欲しい。

「その他」の案について、以下に具体的にご記入下さい。

	 
--	--

- * 4. 少人数制の導入に際しては、より多くの教員数の確保が必要となるため、それに応じて（通常の値上げとは別に）授業料の値上げも伴います。当然のことながら値上げ率が高いほど、より多くの教員を確保する事が可能となり、より積極的な少人数制の導入が可能となります。一つの目安として、2割程度の授業料増で、2割程度の定員数削減は可能と見込んでいます。その結果教員数、クラス数が増えることとなります。どの程度までの授業料増の範囲内で、導入検討を進めるのが望ましいか、お考えをお聞かせ下さい。
- （2割程度とは、現在の小学3年生以上で30名定員を、25名程度にすることを想定しています。）

- ☐ a) 2割以上値上げしても良いので、できるだけ積極的な少人数制導入に賛成である。
- ☐ b) 2割程度までの値上げの範囲内で、少人数制導入に賛成である。
- ☐ c) 1割程度までの値上げの範囲内で、少人数制導入に賛成である。
- ☐ d) 定員数は削減して欲しいが、授業料が上がるのであれば、少人数制の導入は必要ない。
- ☐ e) 定員数は現在のままでよい。
- ☐ f) むしろ定員数を増やして、授業料を下げたい。
- ☐ g) 分からない。
- ☐ h) その他

「その他」の案について、以下に具体的にご記入下さい。

7. 学級経営案について

学校の基本方針を担当のクラス・教科でどう実現していくかを「学級経営案」として毎年年度始めに先生方に作成して頂き、春の授業参観の保護者学級懇談会で配布しております。「学級経営案」の利用状況について教えてください。

1. 学級経営案をどの程度読んでいるか教えてください。

必ず読んでいる 時々読んでいる あまり読んでいない ほとんど読んでいない 学級経営案を知らない

-	☐	☐	☐	☐	☐
---	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

2. 学級経営案が、保護者の皆様にとってどのくらい役立っていますか？

非常に役立っている どちらかといえば役立っている どちらかといえば役立っていない ほとんど役立っていない

-	☐	☐	☐	☐
---	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

8. その他

1. その他、補習校で改善出来る点、ご要望などございましたら、ご自由にお書き下さい。

